

2019年度3月卒業学士論文発表会スケジュール

会場：西8号館（W）10階1008号室（数理・計算科学系コラボレーションルーム）

2020 年 2 月 6 日（木） 15人 10：00 - 15：15

＜樺島研究室＞	3人 45分	
石井 智	SCAD正則化を用いたスパース信号の復元に関する性能分析	10：00 - 10：15
青龍寺 大	レプリカ模擬徐冷法の実験的分析	10：15 - 10：30
森田 祐亮	主成分分析の統計力学的解析	10：30 - 10：45

＜渡邊研究室＞	3人 45分	
中川 哲	ReLU関数とLASSO回帰を用いたニューラルネットワーク 解釈性の研究	10：50 - 11：05
馬場 達之	統計的推測におけるleverageサンプル点の発見法	11：05 - 11：20
廣瀬 瑠伊	交差検証と情報量規準を用いた統計的行列分解のモデル 選択の研究	11：20 - 11：35

＜高安研究室＞	1人 15分	
柏木 琴真	ディーラーモデルによる金融市場の統計的性質の再現	11：40 - 11：55

*****お昼休み*****

＜金森研究室＞	4人 60分	
眞田 雄太郎	教師なし学習による画像ノイズ除去	13：00 - 13：15
川上 裕誠	深層転移学習の能動学習への拡張	13：15 - 13：30
小林 一樹	相互情報量によるグラフオートエンコーダーの学習と推薦 システムへの応用	13：30 - 13：45
須藤 隼	射影勾配法に基づくスパース回帰	13：45 - 14：00

＜中野研究室＞	1人 15分	
高橋 寿弥	経路依存型オプションに対する XVA の 分岐過程を用いた 数値解析	14：05 - 14：20

＜三好研究室＞	1人 15分	
大山 由乃	滞在時間制約のある M/M/1 待ち行列の損失確率について	14：25 - 14：40

＜山下研究室＞	2人 30分	
池野 政貴	非線形最適化問題に対する kernel function に基づく 主双対内点法の構築	14：45 - 15：00
石川 雄大	多面体の直径上限に対する不等式を用いた数値評価	15：00 - 15：15

2020 年 2 月 7 日 (金) 20人 10 : 00 - 16 : 25

＜梅原研究室＞ 鈴木 健太	1人 15分 非ユークリッド幾何学と3角形の心	10 : 00 - 10 : 15
＜土岡研究室＞ 田淵 良悟	1人 15分 相異なる奇数への分割に関する分割恒等式	10 : 20 - 10 : 35
＜室伏研究室＞ 小出 風雅 谷川 峻	2人 30分 非加法的測度論における強形のLebesgueの定理 非加法的測度論における強形のRieszの定理	10 : 40 - 10 : 55 10 : 55 - 11 : 10
＜鈴木研究室＞ 今里 優樹 岩木 隼太 村松 滉平	3人 45分 四色問題とテイトの定理 パーシステントホモロジー 群と結び目 PL多様体が位相多様体であることの証明と三角形分割問題	11 : 15 - 11 : 30 11 : 30 - 11 : 45 11 : 45 - 12 : 00
＜三浦研究室＞ 濱口 寛一	1人 15分 渦度方程式の時間無限大での解の挙動	12 : 05 - 12 : 20
*****お昼休み*****		
＜脇田研究室＞ 永野 達也 上田 叶 細川 夏生	3人 45分 オープンソースソフトウェア開発における協働活動の視覚的 分析システム 長時間ミッション記録のトピック分析による特徴的会話の 発見 多国間多次元データの探索的分析	13 : 00 - 13 : 15 13 : 15 - 13 : 30 13 : 30 - 13 : 45
＜増原研究室＞ 能勢 純弥	1人 15分 デザインレシピに沿ったプログラミングの学習環境に関する 研究	13 : 50 - 14 : 05
＜南出研究室＞ 小林 孝広 福田 大我 高坂 翼	3人 45分 交代性オートマトンを用いたトランスデューサの包含関係の 保守的検査 等号否定入り文字列制約のStreaming String Transducerを 用いた充足可能性判定 CSRF脆弱性とその対策のProVerifを用いたモデル化	14 : 10 - 14 : 25 14 : 25 - 14 : 40 14 : 40 - 14 : 55
＜森研究室＞ 伊藤 凌	1人 15分 複数の量子通信路を識別する量子アルゴリズムの成功確率の 精密な上界	15 : 00 - 15 : 15
＜鹿島研究室＞ 船山 滉暉	1人 15分 命題論理のグラフ論的特徴付けについて	15 : 20 - 15 : 35
＜田中研究室＞ 数藤 恭平 大城 美樹 平賀 大輝	3人 45分 署名回路に対する秘匿可能な電子透かし 通信ログに対する分散表現学習によるプロトコル解析 タイムロックパズルに対する安全性定義の考察	15 : 40 - 15 : 55 15 : 55 - 16 : 10 16 : 10 - 16 : 25